



人形を操る子どもたち＝4日、中津市北原の原田神社



中津市の原田神社で奉納

情感豊かに「北原人形芝居」

【中津】中津市北原の「北原人形芝居」(県指定無形民俗文化財)の奉納が4日、同地区の原田神社であった。地元住民ら多くの観客が情感豊かな古典芸能を楽しんだ。

「万年願」と呼ばれる無病息災を祈る祭りで上演。保存会(吉田隆博会長、25人)によると、700年以上前から同地区に伝わる伝統行事で、現在は保存会と、地元の三保小児童でつくる人形劇クラブが中心となって継承している。

保存会による演目「翁渡^{おきなわたし}」で幕開け。次に子どもたちが「傾城阿波の鳴門・巡礼歌の段^{けいせいあはのなる}」を披露した。同会メンバーが三味線や口上に合わせて人形を繰り、計5演目を上演。観客は細やかな人形の動きに見入っていた。

人形劇クラブの長部蓮さん(12)＝6年＝は「練習の成果を出せたので意外と緊張しなかった。他の小学生にはできない貴重な体験ができた」と喜んだ。(三井祥聖)

〔問①〕この人形芝居は県からどのような指定を受けているか。

答え 【 無形民俗文化財 】

〔問②〕この場ではどのような人たちが演じているか。

答え 【 保存会と地元の三保小児童でつくる人形劇クラブ 】

〔問③〕どのような芝居の内容があるか。

答え 【 「翁渡」など 】